

「しあわせ金婚夫婦」
表彰該当者募集

福島県老人クラブ連合会では、結婚して50年を迎えられるご夫婦の金婚式を祝福するため、お申し込みいただいた全組を表彰し、賞状と記念品をお贈りします。



表彰該当者
昭和43年1月1日から同年12月31日までに結婚されたご夫婦
※前回までに自己申告漏れで金婚を迎えていたご夫婦も対象とします。
表彰式
市内各支部(二本松・安達・岩代・東和)ごとに、9月の敬老の日前後の催しの席上において表彰します。

申し込み方法

老人クラブにご加入の方は所属老人クラブ会長に、未加入の方は、二本松福祉センター内にある二本松市あだたらクラブ事務局に備え付けの「しあわせ金婚表彰申込書」に所定事項を記入の上、お申し込みください。
申込期限 6月29日(金)
◎問い合わせ：
二本松市あだたらクラブ事務局(二本松福祉センター) ☎(23)4121
または高齢福祉課長寿福祉係 ☎(55)5114

道路や河川の美化活動に必要な物品を支給します

市内の道路や河川の草刈り、ごみ拾い等のボランティア活動を行っていただけの方や団体に対して、美化活動を支援するため、活動に必要な物品を支給しています。一緒に市内を住みやすいきれいなまちにしていきましょう。
対象者
市にボランティア登録された次の団体または個人
・ 団体にあっては、町内会、老人会等の地域団体、学校、

企業または家族であること。
・ 個人にあっては、成年であること。
・ その他ボランティアとして市長が適当と認めるものであること。
対象作業
・ 活動区域内の空き缶、吸い殻等の散乱ごみの収集
・ 草木等の除草および伐採
・ 緑地および植樹帯の植木剪定
・ その他道路または河川の美化に必要な活動

支給品の例
刈り払い機の燃料や替え刃、軍手、ごみ袋など
※詳しくは左記までお問い合わせください。
◎問い合わせ：
土木課維持係
☎(55)5125
または各支所産業建設課



栄えある叙勲受章

おめでとunggozaimasu

春の叙勲、危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、各分野で活躍・貢献された方々が受章されました。
受章された皆さまをご紹介します。

旭日双光章

伊藤 清次さん(85)
現(公財)福島県身体障がい者福祉協会会長(郭内)



旭日単光章

三浦 勝真さん(78)
現あだたら商工会会長(小浜)



瑞宝双光章

伊藤 末吉さん(70)
元公立中学校長(西池)



瑞宝単光章

大内 光雄さん(90)
元各種統計調査員(若宮)



道路に張り出した樹木等の伐採のお願い

隣接する個人宅等や山林から、道路上に枝や竹などが張り出している事例が見受けられます。

張り出した枝等は、道幅を狭く感じさせ、歩行者や通行車両の事故につながる恐れがあります。次のような場合、土地の所有者の方は樹木等の伐採または枝打ちをお願いします。

- ・道路、歩道へ樹木の枝や竹が張り出している。
- ・枯れ木、折れ枝などによる通行への障害またはその恐れがある。
- ・樹木や竹の繁茂により、通行への障害またはその恐れがある。

※緊急の場合、道路通行の支障になる枝などを、予告なく伐採・撤去することがあります。

◎問い合わせ：

土木課維持係

☎(55)51215

または各支所産業建設課

二本松市健康マイレージ「ふくしま健民」パスポート事業

市民の健康づくりを目標として、今年度も県と連携協力して6月1日より開始します。運動をしながら、皆さんでチャレンジしてみませんか。

対象者

6月1日時点で18歳以上の市民(高校生を除きます)

概要

台紙記入コースは、今回の広報6月号と一緒に配布します。各保健センター、国保年金課、各支所地域振興課でも受け取ることができます。

スマートフォンアプリ(ふくしま健民アプリ)コースは、アップルストアまたは、Google Play から無料ダウンロードが可能です。

その他

詳細については、各保健センターや各支所備え付けのチラシか、市ウェブサイトをご覧ください。

◎問い合わせ：

健康増進課予防係

☎(55)5109

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

情報公開制度運用状況

二本松市公文書公開条例第35条の規定に基づき、平成29年度の運用状況を次のとおり公表します。

- ・開示請求件数 73件
- ・開示件数 65件
- （うち部分開示 23件）
- ・取下げ 0件
- ・不開示 8件
- （うち不存在 7件）

個人情報保護制度運用状況

二本松市個人情報保護条例第52条の規定に基づき、平成29年度の運用状況を次のとおり公表します。

- ・開示請求件数 1件
- ・開示件数 1件
- （うち部分開示 1件）
- ・不開示 0件
- ・訂正請求件数 0件
- ・利用停止請求件数 0件
- ・簡易開示件数 12件

◎問い合わせ：

人事行政課行政係

☎(55)5084

市民とともに

市長からの手紙

戊辰戦争150年 誇り高き二本松武士道



二本松市長 三保 恵一

戊辰戦争で二本松藩は、主力兵の大半を白河城攻防に送り込み、二本松に残る兵力は約千人。対する薩摩・長州・土佐などの西軍は、7千人でした。徹底抗戦の末、慶應4年7月29日、城を自焼させ炎上落城します。

この戦いで、二本松藩の戦死者は337人、負傷者は71人と、同盟各藩の人口規模で比べると、非常に多い人数であり、激戦を繰り広げたことがうかがえます。そして戊辰戦争で炎上落城したのは、二本松城だけという惨憺たるものでした。

戊辰戦争は二本松藩にとつて、奥羽越列藩同盟への信義を貫いた敗戦覚悟の玉砕戦でした。徳川幕府が大政奉還し、江戸城を無血開城した後、二本松藩の守るべきものは何だったのか！丹羽家の改易から大名復帰への歴史にみる、徳川家に対する恩義か。それとも、会津藩、奥羽越列藩同盟への大義だったのか。

「勝てば官軍、負ければ賊軍」といわれていた時代に、戊辰戦争で生き残った方々は、筆舌に尽くせぬ思いで時代を乗り越えてきました。

「三春藩信に背きて西軍を城中に引く。神人ともそれを怒る。我にして今、同じようなことをしたら、人これを何というか。また、西軍に降って一時的に社稷(国家)を全うしても、東北諸藩を敵となす。いづれか滅びるなら、列藩の信を守って滅びよう」丹羽一学

戊辰戦争150年を顧み、無念の最期を遂げた方々の御霊を弔い、二度と再びこのような悲惨な戦争を起こさぬよう、戊辰戦争後、今日まで努力された先人の偉業を称え、新たな50年・100年に向かって、平和で希望の持てる二本松の未来をひらいてまいります。